

市町村林務担当者と若手職員との合同現地研修会開催

11月12日（火）、十和田市法量の国有林において、当署管内の6市町村（十和田市、三沢市、野辺地町、横浜町、東北町、六ヶ所村）の林務担当者と当署の若手職員を対象とした「森林の見方」についての合同現地研修会を開催しました。

この合同現地研修会は、民有林と連携した森林・林業に関する基礎的な知識及び技術を習得するための一環として行ったもので、今年度が初めての開催となります。

今回の研修は、午前は林分蓄積の推計方法・森林現況調査についての説明と実際の調査、午後は昨年度実施した複層伐・列状間伐の施業についての説明と意見交換等を行いました。

最初に森林現況調査について、当署職員から収穫調査の概要、手順等の説明があり、その後、3班に分かれて実際に収穫調査を行いました。

市町村林務担当者は、初めて体験する作業でもあり、最初は戸惑いながらも、慣れてくるとスムーズに作業を進め調査箇所の蓄積を算出していました。



収穫調査の概要説明



樹高調査の様子



輪尺の使用方法的説明



収穫調査の様子

午後は、昨年度実施した複層伐・列状間伐箇所に移して、まず、当署職員から現地の概要等について説明を行い、その後施業箇所を歩きながら施業方法についての質疑応答や問題点等についての意見交換を行い、参加者からは「初めて学んだ」「林地残材の活用方法について」「国有林は先進的な取り組みをしている」などの意見が出され、大変有意義な一日となりました。

今回の研修は、市町村林務担当者と当署若手職員が業務を行う課程で参考となる内容であり、また、民国連携業務の一助になることを期待して、今後も相互参加の合同研修を開催し、お互いの技術力向上に取り組んでいきたいと思っております。



複層伐の概要説明



列状間伐の概要説明